

6. 2 大学図書館における情報リテラシー教育の実際

千葉大学附属図書館情報サービス課長

尾 城 孝 一

1. 情報リテラシーとは何か

(1) リテラシー

- ・生活言語で短く簡単な文章を読み書きする能力
- ・3R(Reading, (W)Riting, (A)Rithmetic)
- ・「読み・書き・そろばん(計算)」

(2) 機能的リテラシー

- ・「日常生活・職業生活の中で、また地域社会の発展のために、役立てることのできるような基礎学力のこと」(『新教育学大辞典 第6巻』 第一法規, 1990, pp.499-500)

(3) 情報リテラシー

- ・「情報社会」における機能的リテラシーの一種
- ・「情報社会」において生活していくのに不可欠な知識や技能

(4) 具体的定義

- ・米国図書館協会(American Library Association: ALA) 情報リテラシー諮問委員会の最終報告書(1989)

「情報リテラシーとは、情報が必要なときそれを認識する能力、および、必要な情報の発見、評価、利用を効果的に行う能力である。・・・」

- ・米国情報リテラシー・フォーラム(National Forum on Information Literacy: NFIL) 調査報告(1992)

「さまざまな情報源から情報にアクセスし、評価し、利用する能力」

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会(1999)

「情報探索法・整理法・表現法などを含む総合的な情報活用能力。コンピュータ利用能力だけでなく、情報の評価および情報倫理の理解も含めて、あらゆる情報の活用が可能な能力をいう。図書館利用能力も大きな部分をしめている。」

(5) 類縁概念

- ・コンピュタリテラシー

- ・コンピュータで何ができるのか、できないのかを知ること
- ・プログラミングの修得やハードウェアの知識
- ・ネットワーク通信や各種アプリケーションを利用して、情報の収集・整理・発信等を行うための能力

- ・メディアリテラシー

- ・マスメディアから情報を批判的に解釈しながら受け取る能力
- ・種々の情報メディア(特に電子メディア)の「使い方」

- ・情報リテラシーとの関わり
 - ・「コンピュータ」という「メディア」を使って「情報」を活用する，すなわち探索，整理，分析，発信する能力

2. 大学図書館における展開

(1) 大学図書館における実態

- ・橋洋平『大学・高専図書館における情報リテラシー教育』（平成 12 年度科学研究費補助金 奨励研究(B)）
 - ・大学図書館・高専図書館を対象とした悉皆調査
 - ・平成 12 年 7 月から 8 月に実施
 - ・回収率 73.4%
 - ・調査結果
 - ・新入生オリエンテーションの実施率
 - ・全ての館種で 90%を越える
 - ・科目としての情報リテラシー教育への参加率
 - ・全体で 16%，国立大学で 40%
 - ・その他の利用教育（ワークショップ型，ゼミの要望に応じて）の実施率
 - ・全体で 59%
 - ・情報リテラシー教育の開始年
 - ・1990 年代後半から急速な伸び
 - ・Google で検索「情報リテラシー 大学図書館」
 - ・996 件（平成 15 年 5 月 12 日）
 - ・論文，報告，講演，大学図書館のホームページにおける広報

(2) 情報リテラシー教育を促した外的要因

- ・大学教育改革のながれ
 - ・大学設置基準の大綱化(1991)
 - ・大学教育改革のきざし
 - ・カリキュラム改革，授業評価，教授法の改革，講義概要（シラバス）作成
 - ・大学審議会答申『21 世紀の大学像と今後の改革について』（1998）
 - ・4 つの理念
 - ・課題探求能力の育成
 - ・教育研究システムの柔構造化
 - ・責任ある意思決定と実行
 - ・多元的な評価システムの確立
 - ・大学審議会答申『グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について』（2000）
 - ・（情報リテラシーの向上）
 - 「・・・大学教育においては，学生に，グローバルな広がり，主体的に情報を収集

し、分析し、判断し、創作し、発信する能力を養うことが不可欠である。その際、情報モラルや、情報機器及び情報通信ネットワークの機能にかかわる基本的知識や能力の習得を重視することが必要である。」

- ・電子図書館的機能に対する要請

- ・学術審議会建議『大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について』（1996）
「・・・大学図書館は、これら電子的教材作成、情報リテラシー教育及び学生の自主学習等に対する支援において、その一翼を担うことが求められている。特に、学生向けの利用者教育は、情報リテラシー教育の一環として、大学図書館の協力の下に、全学的に取り組むことができるよう、教育体制の整備が必要である。」

（3）内的要因

- ・ハイブリッドライブラリにおける利用者支援体制の必要性
 - ・図書館のハイブリッド化
 - ・資料媒体のハイブリッド化
 - ・紙媒体、電子パッケージ(CD-ROM, DVD 等)、オンライン情報
 - ・所在場所（ロケーション）のハイブリッド化
 - ・物理的図書館（自館、他館）、ネットワーク（インターネット）
 - ・利用者教育から情報リテラシー教育への脱皮
 - ・受動的利用者支援と能動的支援の相互補完
 - ・レファレンスサービス
 - ・利用者からの問い合わせを待つ（受動的）
 - ・利用者からの個々の具体的な情報要求に応じて随時対応
 - ・情報リテラシー教育
 - ・プロアクティブな（先取り型）利用者支援（能動的）
 - ・予め体系的、組織的、計画的な支援を行う
 - ・自立した利用者の育成

3. 事例（千葉大学附属図書館）

（1）組織体制

- ・情報サービス企画係（情報サービス課）の新設（平成 12 年 4 月）
 - ・閲覧係、参考係→閲覧・参考係、情報サービス企画係
- ・定員 2 名

（2）情報リテラシー教育のタイプ

- ・図書館主催ガイダンス
 - ・図書館が独自に企画する各種講習会
- ・学部学科・グループ別講習会
 - ・授業内容に応じた講習会
- ・授業支援

- ・ 普遍教育科目『情報処理』支援

(3) 企画

- ・ 実施時期・スケジュールの策定
- ・ 内容の決定
- ・ 形式の選択
- ・ 実施会場の確保

(4) 実施のための準備

- ・ シナリオの作成
- ・ スライドの作成
- ・ 配布資料の作成
- ・ 機器の準備
- ・ 受付, アンケートの準備

(5) 広報

- ・ インターネット
 - ・ ホームページ
 - ・ ウェブニュース
- ・ メールマガジン
 - ・ Library Mail Alert
- ・ 紙媒体
 - ・ ポスター, ちらし

(6) アンケートとフィードバック

- ・ 今日の講習会で役に立ったことはありますか？
- ・ 今日の講習会で既に知っていたことはありますか？
- ・ 今日の講習会で知りたかったのに教えてもらえなかったことはありますか？
- ・ 今日の講習会でわかりにくかったことや不明な点はありますか？
- ・ 情報検索・文献検索に関して他に知りたいことはありますか？
- ・ どのようにしてこの講習会を知りましたか？
- ・ 他にご意見があればお書き下さい。

(7) 日常的な準備

- ・ 情報提供
- ・ 各ツール類の検索方法の修得
- ・ サポート資料の作成
- ・ ウェブ上での各種ガイド

(8) 統計

(9) 問題点

- ・ 図書館主催型講習会の限界
- ・ 人員の育成

- ・評価

4. 課題と展望

(1) 教育プログラムの確立

- ・ガイドラインに基づく安定したプログラムの確立
- ・ガイドラインの例
 - ・米国大学研究図書館協会 (Association of College and Research Libraries: ACRL)
 - 『情報リテラシー教育のための目標：大学図書館員のための文案 (Objectives for information literacy instruction: a model statement for academic librarians) 』(2001)
 - ・日本図書館協会
 - 『図書館利用教育ガイドラインー大学図書館版』(1998)

(2) 担当者の育成・サポート体制

- ・国立大学図書館協議会電子ジャーナル・タスクフォース「電子ジャーナル利用者教育担当者研修会」
- ・情報リテラシー教育支援システム構想
 - ・国立大学図書館による共同構築の可能性
 - ・予備調査を実施
 - ・計画
 - ・情報リテラシー教材の共有化（教材サーバの構築）
 - ・モデル e ラーニングシステム（自学自習用）
- ・情報リテラシー教育担当者の輪
 - ・ACRL Information Literacy website
 - ・ウェブサイトによるさまざまな情報提供
 - ・メーリングリストの運営

(3) 授業（教員）との連携

- ・授業に沿ったオーダーメイド型ガイダンス
 - ・意義
 - ・受講の動機付け
 - ・図書館サービスの向上
 - ・図書館員の資質の向上
 - ・図書館に対する評価
 - ・阻害要因
 - ・図書館の「余力」不足
 - ・学内での図書館員の地位、位置づけ
 - ・教員側の偏見

(4) 社会貢献における展開

- ・先進的な取り組み例

- ・三重大学附属図書館
- ・横浜市立大学学術情報センター

5. おわりに ―コア・コンピタンスとしての情報リテラシー教育―

・コア・コンピタンス

「企業が競合他社に対して圧倒的に優位にある事業分野や他社にはない独自の技術やノウハウを集積している中核となる部門やサービス」

- ・「情報リテラシー教育」＝図書館のコア・コンピタンス

(参考資料)

レビュー

赤瀬美穂 "情報リテラシーと利用教育" 『図書館界』 53(3), 2001.9, pp.314-321

安藤友張 "図書館利用教育・情報リテラシー教育をめぐる動向：1999～2001" 『情報の科学と技術』 52(5), 2002, pp.289-295

その他の参考文献

青山弘 "「授業と連携した」図書館ガイダンスの可能性 ―岐阜大学の事例を中心に―" 『大学図書館研究』 65, 2002.8, pp.58-66

上原恵美 "琉球大学附属図書館における情報リテラシー教育" 『大学図書館研究』 54, 1998, pp.55-65

杉田いづみ "大学図書館と地域貢献―地域圏大学としての三重大学附属図書館の取り組みと今後の課題―" 『大学図書館研究』 65, 2002.8, pp.48-57

杉田いづみ "三重大学附属図書館の情報リテラシー教育支援" 『情報の科学と技術』 52(11), 2002, pp.569-574

鈴木宏子 "アメリカの大学図書館における情報リテラシー教育と利用者支援" 『大学図書館研究』 62, 2001, pp.37-47

長澤多代 "大学授業改革に求められる大学図書館の役割 ―大学審議会答申における授業と図書館を中心に―" 『日本図書館情報学会誌』 48(3), 2002, pp.105-120

日本図書館協会図書館利用教育委員会編 『図書館利用教育ガイドライン』 東京, 日本図書館協会, 1998-2001

野末俊比古 "第 5 章 情報リテラシー" 『情報探索と情報利用』(田村俊作編) 東京, 勁草書房, 2001, pp.229-278

野末俊比古 "米国における利用者教育の方向：大学・学校図書館の基準を中心に" 『カレントアウェアネス』 268, 2001.12, pp.9-12

原田こずえ [ほか] "横浜市立大学学術情報センターにおける社会貢献の試み―市民への情

- 報リテラシー教育の提供ー" 『大学図書館研究』 64, 2002, pp.38-47
- 三浦逸雄 [ほか] 『大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能ーアンケート調査結果ー』 東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室, 2002.3
<http://www.cl.aoyama.ac.jp/~tnozue/ugl/report.html>
- ACRL. "Information literacy competency standards for higher education." 2000
(http://www.ala.org/Content/NavigationMenu/ACRL/Standards_and_Guidelines/Information_Literacy_Competency_Standards_for_Higher_Education.htm)
- ACRL. "Objectives for information literacy instruction: a model statement for academic librarians." 2001
(http://www.ala.org/Content/NavigationMenu/ACRL/Standards_and_Guidelines/Objectives_for_Information_Literacy_Instruction_A_Model_Statement_for_Academic_Librarians.htm)
- P.S.ブレイビク, E.G.ギー著 三浦逸雄 [ほか] 訳 『情報を使う力』東京, 勁草書房, 1995
ウェブサイト
- 江上敏哲. LLResource ～ライブラリー・リテラシーのためのリソース集～
<http://ha6.seikyou.ne.jp/home/egami/llresource/llrindex.htm>
- 千葉大学附属図書館. 図書館利用・情報検索ガイダンス
<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/guide/guidance.html>
- 日本図書館協会. 大学図書館部会・第18回大学図書館研究集会・第2分科会「情報リテラシーと相互協力」
<http://www.jla.or.jp/daigaku/>
- 橋洋平. 大学図書館における情報リテラシー教育
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/4479/>
- ACRL. Information Literacy Web Site.
http://www.ala.org/Content/NavigationMenu/ACRL/Issues_and_Advocacy1/Information_Literacy1/ACRL_Information_Literacy_Web_Site/ACRL_Information_Literacy_Web_Site.htm